

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	大西 朔永
所属機関名	通信教育部情報理工学部 情報理工学科
職位	助教
在籍年	0 年

教育の責任

通信教育部情報理工学部情報理工学科において、プログラミングの基礎科目（基礎プログラミング）、情報理工学の概観を解説する科目（情報理工学フロンティア）の中で AI に関する回を担当している。

教育の理念

情報技術を核とした技術を身に着けた上で、変化する社会においても必要な技術を継続的に学び続け、新たな社会課題の解決に貢献することのできる人材の養成を目的とする。学生には以下の能力を身に着けてほしいと考えている。

1. 授業以外においても自らが計画を立て、着実に学びを深めることができる
2. 学主内容と身近な物事を結び付けて、継続的に学び続けることができる

教育の方法・方針

教育においては以下の方法を取り、継続的な学びを促している。

1. つまづきや苦手意識を抱かないように、段階的な理解を促す授業構成
2. 抽象的な内容を直感的に理解できるように、視覚的で分かりやすい教材の提供
3. アウトプットによる主体的な学びを促すための、テストによる理解度把握
4. 自分と関係のある内容であることを示すことで学生のモチベーションを維持するために、身近な例と結びつくような授業内容
5. 学生が自ら学びを深める方法を身に着けられるように、学びの方法を提示

教育の成果

段階的な学習と、具体的なイメージを重視した教材により、理解ができたとの授業アンケートが得られている。授業への満足度でも「満足」や「ほぼ満足」という評価を得ている。授業アンケートにおいて、「応用プログラミングが楽しみ」といった発展的な内容に対する期待など学びの意欲が維持されていることが見られる。

今後の目標

学生からのフィードバックに基づき、授業の受け方や各回の授業目標を丁寧に提示することで、授業をより理解できるように改善する。アウトプットによって、学生自身が自身の理解度を把握するための課題について、難易度や量を調整し、過不足のない課題へ継続的に改善を行う。また、近年は AI を中心に技術革新の速度が増しているため、技術者には新たな技術を継続的に学び続ける能力が非常に重要となっている。そこで、今後も学び方を伝える教育に取り組む。

根拠資料

シラバス、小テスト、教材、授業アンケート結果